

さかいまち 議会だより

No. 193

令和2年11月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会
〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873
ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



目次

第3回臨時会及び第3回定例会
議決事項…………… P2～P6

一般質問…………… P6～P7

議会活動…………… P8



地場産品研究開発施設「S-Lab」 肅黎實美術館「S-Gallery」の落成式に参加してまいりました。

令和2年第3回臨時会

7月21日（1日間の会期）



境町と友好交流都市であるホノルル市から、友好の証として贈られたアロハシャツの生地を使用したマスクを全議員が着用し、第3回臨時会を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響により暗いニュースが続く中、町議会から少しでも明るい話題を届けることが出来ればと考え実施いたしました。

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
承認第20号	専決処分の承認を求めることについて （境町観光情報発信施設の設置及び管理に関する条例の制定について）	令和2年7月21日	即日 原案承認
承認第21号	専決処分の承認を求めることについて （境町観光情報発信施設の指定管理者の指定について）	令和2年7月21日	即日 原案承認
承認第22号	専決処分の承認を求めることについて （さかい創業支援センター「S-Start up」の設置及び管理に関する条例の制定について）	令和2年7月21日	即日 原案承認
議案第52号	モンテネグロ会館の設置及び管理に関する条例の制定について	令和2年7月21日	即日 原案可決
議案第53号	子育て世帯等交流施設「S-Cafe」の設置及び管理に関する条例の制定について	令和2年7月21日	即日 原案可決
議案第55号	事業契約の締結について	令和2年7月21日	即日 原案可決
議案第56号	工事請負契約の締結について	令和2年7月21日	即日 原案可決

補正予算関係

令和2年度境町各種会計補正予算

会計	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計	161億8,484万6,000円	1億2,246万6,000円	163億731万2,000円

令和2年 第3回定例会

9月9日～9月15日（7日間の会期）

9月9日から15日までの7日間の会期で開催され、報告2件、令和元年度決算認定8件、条例4件、補正予算8件、その他10件の議案が提出され原案のとおり可決・認定・承認されました。また、請願については、採択となりました。



決算特別委員会を進行する
櫻井 実 委員長

令和2年第3回定例会におきましても、新しい生活様式のもと最大限の対策を行い、また議場内での傍聴につきましても、お断りさせて頂いていただき開催いたしました。住民の皆様には、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

決算特別委員会報告

開会初日（9月9日）本会議に提案された令和元年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月14日に開催され、慎重に審査をした結果いずれの会計とも認定すべきものと決定し、9月15日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月25日(月)・8月25日(火)に、令和元年度境町一般会計及び特別会計6件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本 隆行
境町監査委員 須藤 信吉

○一般会計

歳入財源は、ふるさとづくり寄付金、企業版ふるさとづくり寄付金及び災害支援のためのふるさとづくり寄付金代理受付等による寄付金、基金からの繰入金が増となり、これらの財源を活用した施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。

歳出については、国・県補助金、基金等の財源を組み合わせ、極力町の負担を軽減する取組が何え、順調に執行され、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に努められたことが確認できる。

○特別会計

独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に努められた。

国民健康保険事業については、国保加入者数、国保税収入が減となったものの、保険者努力支援金

等の獲得により、順調に業務が遂行できていることを確認できる。

介護保険事業については、地域支援事業交付金等を活用した介護予防事業を実施して、給付費の削減に努め基金の積立を行うなど、順調に業務が遂行できていることが確認できる。

公共下水道事業や農業集落排水事業については、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想されることから、処理施設の最適整備構想化計画を策定し、効率的な整備に努めていただきたい。

今後の行財政運営に当たっては、より効果的かつ効率的な実施に努め、多様化している住民ニーズや社会情勢に順応した事業等を計画的に実施していくよう望むものである。

水道事業では、人口減少に伴う収益減が予想されるなか、老朽化した浄水設備の更新など解決すべき問題は山積しており、こうした状況下にあつて安心して利用できる水道水の供給を持続できるように、会計の外部公会計化や老朽化に対応するための更新計画及びこれに要する費用等を明記した経営戦略計画の策定等を要望する。

令和元年度 各種会計決算状況

一般会計

歳入

町税	35億8,860万931円
地方譲与税	1億3,014万8,013円
利子割交付金	217万1,000円
配当割交付金	1,211万7,000円
株式等譲渡所得割交付金	738万7,000円
地方消費税交付金	4億4,077万1,000円
ゴルフ場利用税交付金	333万8,461円
自動車取得税交付金	1,863万3,761円
地方特例交付金	4,204万1,000円
地方交付税	15億2,042万9,000円
交通安全対策特別交付金	278万8,000円
分担金及び負担金	1億3,726万8,173円
使用料及び手数料	1億1,725万8,010円
国庫支出金	23億5,219万8,921円
県支出金	6億5,206万2,456円
財産収入	498万1,440円
寄付金	32億3,959万7,595円
繰入金	32億6,174万6,726円
繰越金	3億4,850万4,335円
諸収入	7,996万2,471円
町債	10億1,818万9,000円
計	169億8,591万9,293円

歳出

議会費	1億705万9,014円
総務費	41億1,780万4,283円
民生費	32億5,814万7,220円
衛生費	8億1,082万5,741円
労働費	2,949万34円
農林水産業費	4億1,577万1,879円
商工費	2億6,397万6,489円
土木費	19億6,098万8,833円
消防費	4億7,275万9,015円
教育費	10億7,428万3,860円
災害復旧費	711万8,100円
公債費	10億2,432万760円
諸支出金費	31億2,045万991円
予備費	0円
計	166億6,299万6,219円

特別会計

坂東市外2か町公平委員会

歳入	110万55円
歳出	34万7,356円

国民健康保険事業

歳入	29億1,972万4,528円
歳出	28億9,414万1,221円

後期高齢者医療事業

歳入	4億8,490万3,453円
歳出	4億8,420万8,642円

介護保険事業

歳入	21億767万479円
歳出	19億7,178万9,935円

公共下水道事業

歳入	11億5,562万8,667円
歳出	11億2,223万5,319円

農業集落排水事業

歳入	2億3,469万5,969円
歳出	2億2,409万6,720円

水道事業

収益の支出	5億8,302万9,110円
資本の支出	1億3,098万5,556円

補正予算関係

令和2年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第7号)		163億731万円	8億300万円	171億1,032万円
一般会計(議案第8号)		171億1,032万円	300万円	171億1,332万円
一般会計(議案第9号)		171億1,332万円	1億5,803万円	172億7,135万円
特別会計	住宅事業	4億6,720万円	272万円	4億6,992万円
	国民健康保険事業	28億5,755万円	2,054万円	28億7,809万円
	介護保険事業	19億8,790万円	1億3,947万円	21億2,737万円
	公共下水道事業	8億2,253万円	△100万円	8億2,153万円
	農業集落排水事業	2億5,659万円	100万円	2億5,759万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
報告第6号	令和元年度境町財政健全化判断比率の報告について	—	—
報告第7号	令和元年度境町公営企業資金不足比率の報告について	—	—
承認第23号	専決処分の承認を求めることについて (境町国民健康保険税条例の一部改正について)	令和2年9月9日	即日原案承認
承認第24号	専決処分の承認を求めることについて (境町介護保険条例の一部改正について)	令和2年9月9日	即日原案承認
議案第57号	境町手数料徴収条例の一部を改正する条例案について	令和2年9月15日	原案可決
議案第58号	境町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案について	令和2年9月15日	原案可決
議案第65号	町道路線の認定について	令和2年9月15日	原案可決
議案第66号	町道路線の認定について	令和2年9月15日	原案可決
議案第67号	町道路線の廃止について	令和2年9月15日	原案可決
議案第68号	町道路線の廃止について	令和2年9月15日	原案可決
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	令和2年9月15日	採 択
発議第3号	境町議会決算特別委員会の設置について	令和2年9月9日	即日原案可決
発委第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書案	令和2年9月15日	即日原案可決
発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	令和2年9月15日	即日原案可決

人事案件

○境町教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求められ、全会一致で即日同意されました。

境町
浅沼 明 氏



新任

境町大字下小橋
石川 直子 氏



新任



五ツ輪会から贈られた手作りのマスクを着用し本会議を開催いたしました。

一般質問

1番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)コロナ禍における新しい生活様式に向けた施策について
- (2)自動運転バスの運行について
- (3)家庭内におけるDVや児童虐待の対策について

2番 議席5番 櫻井 実 議員

- (1)新型コロナウイルス感染防止対策について

3番 議席12番 斉藤 政雄 議員

- (1)染谷川について

3人の議員が登壇しました

議席10番

田山 文雄 議員



コロナ禍における新しい生活様式に向けた施策について

Q 本町においてもオンライン、テレワーク、働き方改革や学校の休日、分散化を図るなど推進しているが、施策の進捗や見通しについて。学校の休校措置によるオンライン学習の実施状況及び今後の施策等について。

A 境町では、民間企業の模範となるべく、率先して職員のテレワークを実施しており、緊急事態宣言が発令されていた時期においては、最大で237名中191名の職員が実施し、実施率80.6%であった。現在は、第15回対策本部会議においてテレワーク実施率の目標を約30%に設定し、徹底している。

学校においては、今後いつ休校になっても、オンライン授業ができるよう、低学年も含め全小中学校においてZoomの使い方について学習機会を設け、英語教育をオンラインにより各家庭でも学習できるように、スキル向上に取り組んでいる。

今年度中には、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備や校内高速ネットワークの整備を進め、ICT機器の活用能力を高めてまいりたい。
(総務部長・教育次長)

自動運転バスの運行について

Q コロナ禍のため6カ月延長となったが今後の見通しについて。

A 国内自治体で初めての自動運転バス定常運行実施については、関係機関と連携し本年10月中の運行開始を目指し準備を進めている。
(企画部長)

家庭内におけるDVや児童虐待の対策について

Q 全国でもこのコロナ禍にお

るDVや児童虐待の増加が問題となっており、**当町における現状と対策**について。

A 児童相談所や子ども未来課で家庭訪問を行い、保護者への面接指導を実施しているほか、事案内容によっては、児童相談所などの関係者による要保護児童対策会議を開催し、事案ごとに対処方法の確認を行い支援を実施している。今後も引き続き児童の安全確保を第一に取り組んでいく。

(福祉部長)

議席5番

櫻井 実 議員



新型コロナウイルス感染症防止対策について

Q コロナ禍における自然災害発生に際して、避難場所や避難先の安全対策は、どのように検討して

いるのか。

A 災害発生時には、広域避難ブラス、コロナ対応の複合災害になる。3密を避ける避難所運営では、受け入れが4割減となる。「自らの命は自ら守る」意識が重要で、町内の2階以上に垂直避難するエリア指定を検討しており、小学校区単位のハザードマップと「コロナ禍の感染症対策を踏まえた住民アンケートの結果」を反映したパンフレットを作成し全戸配付する。広域避難を要する場合は、感染リスクよりも「命を守る行動」を優先し避難勧告を発令する。

(危機管理部長)

Q 小中学校において児童・生徒、先生から感染者が確認された場合、学校は、どのような対応を取るのか。

A 文科省から「学校の新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が示されており、当町においても参考に対応する。

(教育次長)

Q 本町の「さかエール」の加盟店(地元応援券・ふるさとクーポン)への安全・安心な利用対策として県の「いばらきアマビエちゃん」システムを積極的に取り組む

べきではないか。

A 現在、当町では、100件の事業所が登録している。茨城県では、「アマビエちゃん」の登録を義務化する条例を議会に提案しており、条例可決後、県の指導に従い登録を推進する。

(秘書公室長)

議席12番

齊藤 政雄 議員



染谷川について

Q 染谷川の改修事業は昭和49年に事業認可を受け昭和50年から国補事業として実施し、河川敷の用地取得等を行ってきたが、改修計画の変遷について。

A 染谷川の改修計画については、昨年度から現況の流下能力や冠水被害の要因を調査検討し、河川改

修による効果と上小橋五差路上流に調整池を設置した場合の効果について検証を行った。その結果、上小橋五差路から上流部も含め染谷川全体の改修を行う場合、調整池を設置する場合より低い概算事業費で、同様の効果が期待できるとの結果になった。

町としては、調整池設置にかかる費用を河川改修費に充当し集積的な整備を進めることで冠水被害の軽減が図れると考えている。

(建設農政部長)

Q 下小橋水田遊水対策組合及び染谷地区地権者について。

A 染谷川については、下流から順次改修事業を進めており、現在下小橋地内の工事を実施している。整備にあたっては、下小橋水田遊水対策組合及び染谷地区の地権者の皆さまのご協力により順調に進捗している。

今後、一日も早い完成を目指し河川改修事業の整備促進を図っていくが、下小橋水田遊水対策組合及び染谷地区地権者の皆さまには、下流域の冠水被害軽減のため引き続きご協力をいただきたいと考えている。

(建設農政部長)

議会活動

境町観光情報発信施設

7月9日に境町観光情報発信施設の落成式が挙行政されました。



沖縄県国頭村公設市場

8月8日に沖縄県国頭村公設市場のプレオープンに参加させていただきました。



第4期境地区定住促進住宅

定住促進事業としての第4弾PFI方式住宅の起工式が8月20日に挙行政されました。



町内現地視察

総務建設農政常任委員会では、定例会中の9月11日に町道路線等の現地視察を行いました。



モンテネグロ会館

9月16日にモンテネグロ会館の落成式に参加させていただきました。



境町議会では町中に続々と完成している施設のオープニングセレモニーに多数参加させていただきました。今後も、更に魅力あふれる境町となるよう、町と共に尽力してまいります。

横塚橋開通式典

9月10日に交通安全祈願を込めた、横塚橋の開通式典に参加させていただきました。



◎広報編集委員会

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 青木 輝明 | 飯田 昌宏 | 相良 昌宏 | 鈴木 英明 |